

## 外国送金受付ワークフロー「SurFIN」がSwift 接続認定取得

～透明性の高い送金手続きで、画期的なユーザー体験を実現～

BIPROGY は、外国送金受付ワークフローサービス「SurFIN (サーフィン)」において、Swift <sup>(注1)</sup> と接続できるパートナープログラム認定を取得しました。Swift が保有するデータや機能に API で接続し、さまざまな情報サービスを 2024 年 12 月から、順次「SurFIN」で提供していきます。

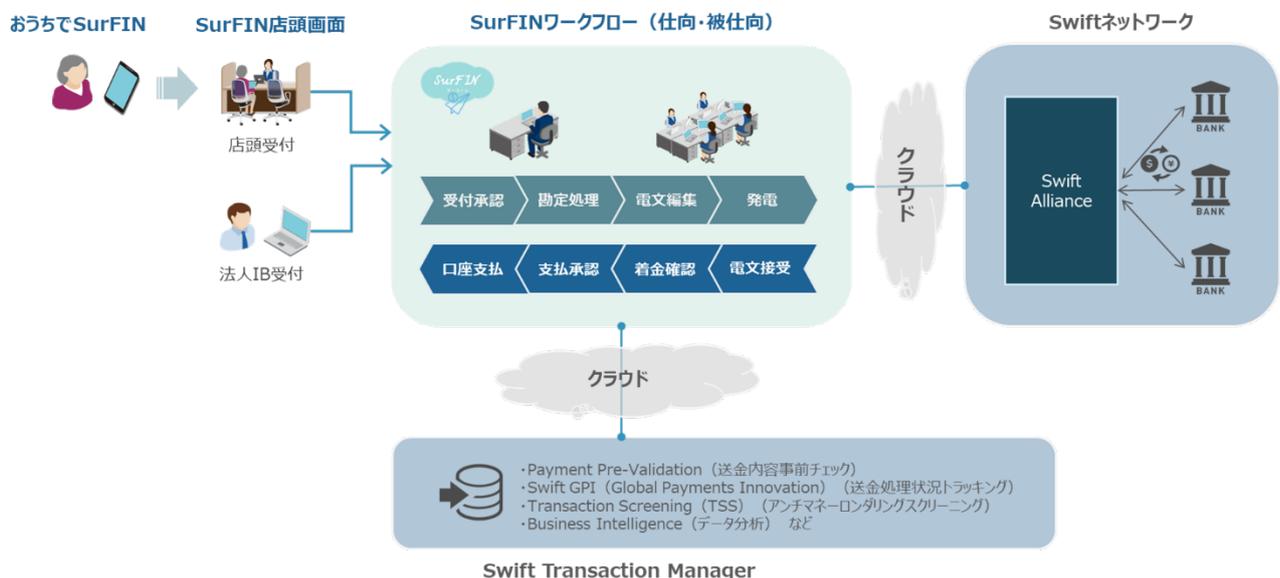
具体的には、Swift に参加するグローバル金融機関の情報および Swift ネットワーク上の、送金電文の追跡データを API で参照可能となる Value-added Services や、「SurFIN」を直接 Swift に接続し、送金電文を送受信できる Business Connect サービスを提供します。これにより、送金依頼人の利便性が向上するだけでなく、金融機関の業務負担とコストを軽減します。

### 【Swift が提供する新たなサービスと認定資格】

従来、外国送金手続きでは、「送金先の国によって必要な情報が異なるなど内容が複雑」、「受取人口座にいつ届くか分からない」、「手数料がいくら掛かるか分からない」などの課題がありました。Swift はこれらの課題を解決するために、送金依頼内容を事前チェックできる Payment Pre-Validation 機能や、中継する銀行間での処理状況や手数料を追跡できる Swift GPI (Global Payments Innovation) 機能、アンチマネーロンダリング対策としてフィルタリングを可能にする Transaction Screening (TSS) 機能などを開発し、API を通じて提供しています。また、金融機関が Swift 電文を送受信するためには、従来は接続システム (Swift Alliance) をオンプレミス環境で構築もしくは外部ベンダーへ運用委託などを行っていましたが、Swift が提供する API を使いクラウド上で利用可能となります。

Swift は、これら API を利用できる認定ベンダー資格を設けており、BIPROGY は Platform Partnership Programme において、Value-added Services Enabler および Business Connect Enabler の 2 つの認定を取得しました。

### 【「SurFIN」における Swift API の利用イメージ】



## 【「SurFIN」の今後のサービス展開】

「SurFIN」は、仕向送金の受け付けから電文発信まで、また被仕向送金の電文接受から顧客口座への支払いまでを一元的に処理できるワークフローシステムとして、国内 40 以上の金融機関に採用されています。今後、G20 ロードマップで定められた 2027 年までの達成目標<sup>(注2)</sup>を支援するため、「SurFIN」では Swift が提供するさまざまなサービスを API にて連携することによりサービスを拡充し、顧客のユーザー体験を飛躍的に向上させ、かつ金融機関の事務を自動化できるサービスを順次提供していきます。提供を予定しているサービスは次の通りです。

### ●送金依頼内容の事前チェック

- ・顧客の入力画面（おうちで「SurFIN」）において、入力された BIC（Swift において金融機関を特定するコード）から送金先の銀行名や住所を検索できる機能や、受取人の口座番号に誤りがないか確認できる機能を提供し、送金依頼内容入力のサポートが可能になります。

### ●送金処理状況の追跡

- ・送金電文の発信から受取人口座への着金まで、中継する金融機関での処理状況を「SurFIN」の管理画面から確認できます。
- ・送金依頼人や受取人に、着金予定日や手数料を事前に通知する機能を開発し、送金手数料の透明性やトレーサビリティを確保することが可能になります。
- ・送金先の金融機関への問い合わせについて、従来のような照会電文を打鍵するのではなく、「SurFIN」管理画面から問い合わせ内容を API 経由で通信ができます。

### ●アンチマネーロンダリングのスクリーニング

- ・従来は電文発電後に TSS で確認する必要がありましたが、「SurFIN」で API 連携することで、ワークフロー操作において電文発電前に TSS で確認できます。

### ●送金データの分析

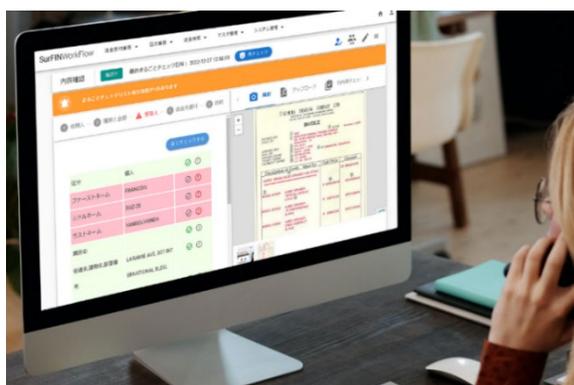
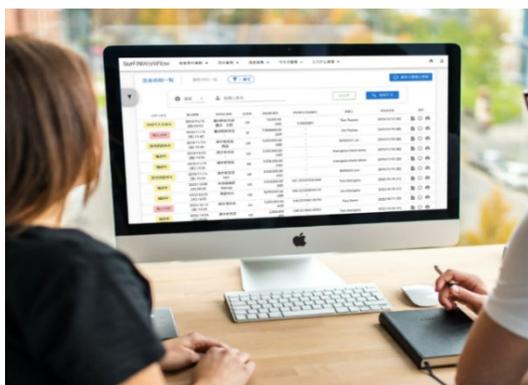
- ・Swift が保有するグローバルの送金統計情報から、中継する金融機関ごとの送金処理スピードや送金手数料などを分析し、「SurFIN」で処理した過去の送金と比較し、より早く低コストな送金経路を調べることが可能になります。

また、「SurFIN」の Business Connect サービスでは、Swift と直接電文送受信できることで、従来のような Swift Alliance の維持管理や、ネットワーク機器などの保守が不要になり、クラウド上で Swift 接続が全て完結できる Zero Footprint<sup>(注3)</sup>を実現します。

Business Connect は、城北信用金庫、富山銀行、北國銀行、武蔵野銀行、山形銀行、山梨中央銀行、琉球銀行など国内 11 金融機関での採用が決定しています。

## 【「SurFIN」の操作イメージ】

金融機関では、各部署間での事務遂行において、従来のような書類の受け渡しではなく、ワークフロー画面を操作することで必要なデータが連携され、事務を完結することができます。



以上

※注1：Swift (Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication)  
国際銀行間通信協会

Swiftは200を超える国と地域における11,000以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人などをつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。

※注2：クロスボーダー送金の改善に向けたG20ロードマップ

2021年のG20ローマ・サミットにおいて、クロスボーダー送金の改善に向けたロードマップが設定され、コスト、スピード、アクセス、透明性の4つの課題を改善するため、2027年末までの達成目標(KPI)が定められた。

<https://www.fsb.org/work-of-the-fsb/financial-innovation-and-structural-change/cross-border-payments/g20-targets-for-enhancing-cross-border-payments-2/>

※注3：Zero Footprint

金融機関環境内に、サーバーやネットワーク機器などを構築する必要がなく、クラウド上のシステムにアクセスすることでいつでも最新の機能を利用することができること。クラウド化することでビジネス変化に柔軟に対応できるメリットがある。

## ■関連リンク：

- ・外国送金受付ワークフロー「SurFIN」  
<https://www.biprogy.com/solution/service/surfin.html>
- ・2022年9月26日付 ニュースリリース  
国内初、外国送金受付ワークフローサービス「SurFIN」のISO20022対応版を販売開始  
[https://www.biprogy.com/pdf/news/nr\\_220926\\_2.pdf](https://www.biprogy.com/pdf/news/nr_220926_2.pdf)
- ・『ISO20022対応版SurFIN』で外国送金がますます便利に！  
<https://youtu.be/Sn98JAoM3K0?si=DU7Xf4Vx3IgvDolh>

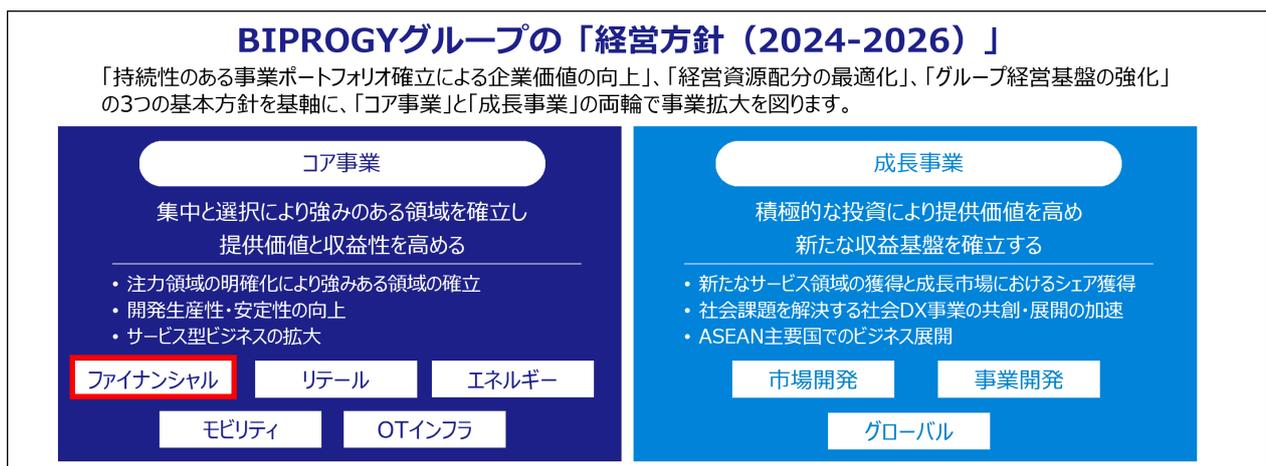
※SurFINは、BIPROGY株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係者お問い合わせ窓口>

[https://www.biprogy.com/newsrelease\\_contact/](https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/)



### 【コア事業での取り組み】

BIPROGYグループが経営方針（2024-2026）で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGYグループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGYグループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>